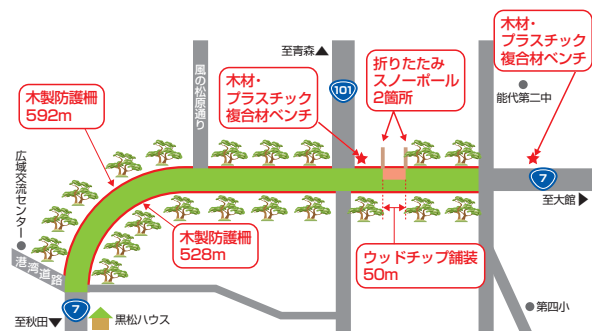


木の香る道づくりモデル地区

国土交通省では、安全で快適な道路空間の確保、良好な景観形成等の観点から国と地方公共団体が連携した「木の香る道づくり事業モデル地区」における木材利用を推進しています。

のしろ白神の道では、「木都能代」を感じられるまちづくりを民・学・官の連携で進めており、黒松が並ぶ国道7号に木製防護柵やウッドチップ舗装等の整備、秋田自動車道太平洋山パーキングエリアではトイレの内装に木製品を使用するなど道路空間における木材利用の普及に取り組んでいます。



黒松並木・ウッドチップ舗装



木材・プラスチック複合材ベンチ



折りたたみスノーボール・防護柵



日本風景街道



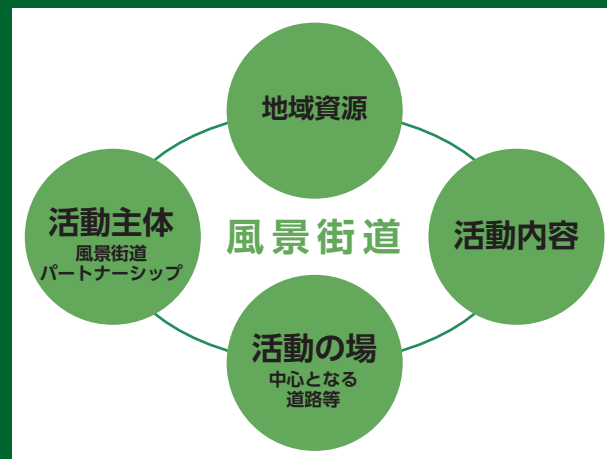
のしろ白神ネットワーク



ビューポイントマップ

日本風景街道

住民、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした「美しい景観づくり」や、「活力ある地域づくり」に取り組んでいます。



のしろ白神ネットワーク

のしろ白神ネットワークは、民・学・官が連携し、秋田県北地域の国道7号や101号、秋田自動車道を「のしろ白神の道」として歴史と文化の薫る風景街道に育てていくことを目的に、平成18年4月に立ち上げられました（H19.12.5 ルート登録）。主な活動地域は、世界自然遺産白神山地や日本一の黒松並木を眺望できる能代市の国道7号や秋田自動車道が中心となっています。各団体の交流と地域資源、特に豊富な木材にこだわりながら景観に配慮した「木の香る道づくり」を進めています。

民学官協働のネットワーク



日本風景街道

のしろ白神の道



民学官の連携と積極的な木材利用を推進し、目標達成に貢献します。



活動紹介



●木製防護柵塗装イベント

「木の香る道づくりモデル地区」に設置されている木製防護柵の耐久性と景観の向上を目的に、ボランティアを募集して塗装を行っています。



●太平山PA活用イベント

秋田県北、能代山本地域への観光誘客、情報発信を目的とした地域活性化イベントを太平山パーキングエリアで行っています。ここに秋田杉製ベンチ等を設置して、木材利用や地域の魅力を発信しています。



●のしろ市民まちづくりフォーラム

活動に伴う課題解決や知恵の共有、新たな活動を見出すため、まちづくり先進地の取り組みや考え方を市民とともに学んでいます。



●イベント支援

秋田杉を活用したあかりや灯籠を灯す「のしろまち灯り」や「嫁見祭り」などに、灯りや木製機材の提供、貸し出し等を行っています。



●情報発信

「道の駅ふたつ、ことおか」と連携し、ビューポイントパネルの設置や、情報コーナーで日本風景街道のPRを行っています。

道の駅ふたつ



のしろ白神の道に、日本風景街道口ゴマーク及びルート名の表示を行っています。



おすすめスポット

①街道カフェ「夢工房 咲く咲く」



のしろ白神の道の交流や活動の拠点であり、地域情報や「食育」「地産地消」をテーマにした安全安心メニューのランチを提供しています。また、料理教室やコンサート、朝市などを開催しています。



②能代市旧料亭金勇(かねゆう)



金谷勇助氏によって昭和12年に建て替えられ、平成20年まで料亭として使われていた歴史のある建物で、国登録有形文化財になっています。1階中広間の約9メートル中空(板の中央部分が板目で両端部分が柱目の木材)の天井など貴重な木材をふんだんに使用した、木都能代を代表する建築物です。



③井坂(いさか)記念館



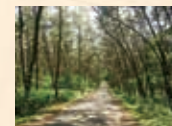
木都能代の父「井坂直幹」の偉業を顕彰するため、昭和47年に開館されました。直幹の遺品や能代の木材産業の歴史、砂防林の歴史などの資料を展示しています。一階には木材業関連の資料、二階には井坂直幹の遺品を中心に展示しています。



④きみまち阪



⑤風の松原



⑥坊中橋(ぼうちゅうばし)



⑦留山(とめやま)

